

耶馬溪ダムの貯水率低下に伴う、さらなる節水のお願い

担当：《総括》防災危機管理課

小屋野（電話0979-22-1113）

《水道関係》上下水道部総務経営課

徳永（電話0979-24-1234）

《農地関係》耕地課

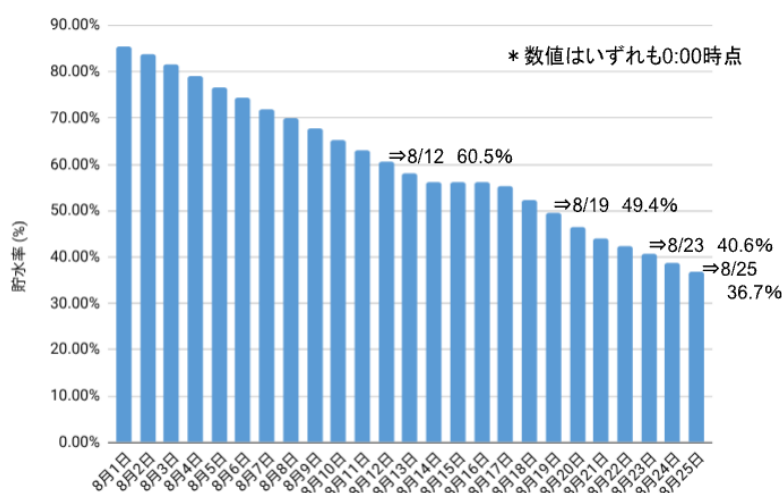
河野（電話0979-62-9052）

梅雨明け以降の少雨により、8月23日午前9時時点で耶馬溪ダムの貯水率は40%を下回り、市民生活に欠かせない水資源の確保が危機的な状況にあります。

報道機関のみなさまには、市民へ最大限の警戒と協力の呼びかけをお願いいたします。

➤ 現在の状況

■貯水率の推移(8月25日 0:00時点)



（近年の主な渇水状況）

平成10年 貯水率24.6%（過去最低）

平成17年 貯水率40.9%

平成21年 貯水率37.8%

平成30年 貯水率29.7%

令和6年 貯水率39.8%

令和7年 貯水率40.7%

■現在の対応状況

（上水道関係）

- ・ 8月23日に取水制限（20%）へ移行
- ・ 大口利用者への節水の依頼
- ・ なかつメール等による呼び掛け強化
- ・ 給水拠点の設置の準備

（農業用水関係）

- ・ 旧下毛地域を中心に水田の水不足が発生
- ・ 散水車、水中ポンプ、農業集落排水処理水による給水（旧下毛地域）
- ・ 8月23日に取水制限（30%）へ移行

➤ 今後の見通しと今後の対応

気象予報によると、今後もまとまった降雨は見込めないことから、9月初旬には20%を下回ることが予想され、さらなる取水制限が必要となります。

水道水を作るために必要な水を山国川から十分に取ることができなくなると、減圧給水といった措置を講じなければならなくなり、市民生活に影響を及ぼす事態が考えられることから、現在、給水拠点等の準備を進めています。

また、農作物にも深刻な影響が予想されることから、状況に応じて対策を講じてまいります。